**富山市民病院に大腿骨近位部骨折（大腿骨頚部骨折・大腿骨転子部骨折）で**
**入院された方またはご家族の方へ**

当院では大腿骨近位部骨折で入院された方に以下の研究を実施しています。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

| | |
|---|---|
| 研究の名称 | 大腿骨近位部骨折患者における退院後の再骨折予防外来の受診と骨粗鬆症薬物治療の関連の検討 |
| 研究責任者（所属） | 萩行　正博（富山市民病院医療技術局薬剤部薬剤科） |
| 研究の目的及び意義 | 当院では大腿骨近位部骨折で入院された方に、退院後の経過確認と再骨折（二次性骨折）を予防することを目的として、入院後４ヶ月と１年を目安に再骨折予防外来を受診いただき、医師の診察に加え多職種でのフォローアップを行っています。再骨折予防外来を受診されない場合には、ご本人やご家族へのお電話や診療録の参照等の方法で経過の確認を行っています。<br>大腿骨近位部骨折後の再骨折を予防するためには、転倒予防に加えて、骨粗鬆症薬物治療を継続することが重要となりますが、再骨折予防外来を受診し対面で多職種のフォローアップを受けられた方と、お電話等による非対面の確認のみとなった方では、骨粗鬆症薬物治療の内容や継続率に差がある可能性があります。これを調査・検討することは、外来フォローアップの適正化と効率化、骨粗鬆症薬物治療の適正化と継続率向上、さらには将来的な再骨折の発生率低減につながる可能性があるため、今回、調査・研究を実施します。 |
| 研究の方法 | 電子カルテを用いて診療録、外来受診状況、骨粗鬆症薬物治療の状況を調査します。 |
| 研究対象者 | 令和６年１月１日から令和６年12月31日の間に、当院に大腿骨近位部骨折で入院された方のうち、日本脆弱性骨折ネットワーク（FFN-J）レジストリへの登録に同意された方を対象とします。<br>（今回の研究は、入院中にFFN-Jレジストリへの登録に同意された方のみを対象とします。FFN-Jレジストリには、大腿骨近位部骨折の適正な治療ならびに二次性骨折予防のための課題抽出や国際比較を目的に、全国の大腿骨近位部骨折患者のデータが登録されています。当院もこのレジストリの参加施設であり、同意を得られた方を対象に入院後１年までの経過確認ならびにデータ登録を行っています。FFN-Jレジストリについての詳細は、次のURLよりご参照ください。https://ffn.or.jp/database/） |

| | |
|---|---|
| 資料・情報の他の研究機関への提供および提供方法 | 他の機関への試料・情報の提供はありません。 |
| 個人情報等の取扱い | 電子カルテからデータを得た段階で、氏名や住所等の個人が特定できる情報は削除します。また、研究成果を学会・論文等で報告する場合がありますが、この際も個人を特定できる情報は利用しません。 |
| 研究対象者への負担、リスク等 | 後方視的なカルテ調査であり、研究対象者への負担、リスクは伴いません。 |
| 利益相反 | 本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 |
| 問い合わせ先 | 電話：(076) 422-1112（代表）<br>担当者：萩行　正博（富山市民病院医療技術局薬剤部薬剤科） |
| 備考 | 研究に同意しないこと又は同意を撤回することによって不利益な取扱いを受けることはありません。 |